

まちの話題

Town topics



11/20 若狭町子ども会卓球大会

若狭町子ども会育成連合会主催の第15回若狭町子ども会卓球大会が3年ぶりに若狭町上中体育館（市場）で開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体戦・個人戦ともに参加上限数を設け町内各地区の小学3年生から6年生で団体8チーム、個人34名が参加しました。交流を深める目的でリーグ戦での対決をして順位を決めずに楽しみました。

久しぶりの大会ということもあり、子どもたちは笑顔いっぱいでのびのびとプレーを楽しんでいました。



11/26 若狭町シルバー朝市



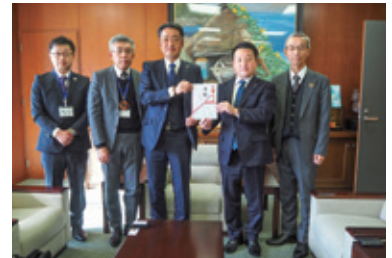
昨年に引き続き若狭町シルバー朝市が晴天のもと若狭町交流プラザ（中央）前において開かれました。

シルバー人材センターの会員が栽培したキャベツ、ネギ、大根などの野菜や、手作りの雑貨、また神子からはアジ、カレイ、カマスなどの干物、たいしたもん屋（兼田）からはぼた餅、地元伝統野菜の山内かぶらが入ったコロッケ、餃子などが並び、詰めかけた多くの来場者は朝早くの買い物を楽しんでいました。

11/28 教育機材の寄贈

福井銀行教育福祉財団が、町内全9小学校にワイヤレスアンプやプロジェクターなどの教育機材を寄贈しました。この日、同財団の荒木健一常務理事（福井銀行執行役）が役場三方庁舎を訪れ、渡辺町長に目録を手渡しました。

渡辺町長は「町内すべての小学校に教育機材を寄贈いただいたことは大変ありがたく、さらなる教育活動の推進に向けて有効に活用させていただきます」と御礼を述べました。



11/28 若狭町女性の会「町長と語る会」開催

女性の会毎年恒例の「町長と語る会」が開催され、渡辺町長と会員16名が意見交換を行いました。女性の会からは事前に4つの質問が出され、町長がこれに答えました。

- 子育て支援の意見箱の利用状況と一般向けの意見箱の設置については、子育ての意見箱は支援センターに設置し有効に活用されている。町民全体の意見を聞く意見箱についても今後検討していきたい。
- 役場職員の専門技能資格取得の状況などについては、専門職は募集してもなかなか受験してもらえないので、職業高校などにも役場の仕事を知ってもらえる機会を設けていきたい。また職員のスキルアップは町を強くすることにつながると考えている。
- 若狭町女性の会や地区女性の会についてと
- 女性が活躍できる町については、町民の半数が女性であり、様々な視点から貴重な意見や要望について話し合える機会を今後も設けてきたい。女性の会にはさらに発言力をもってほしい。他にも様々な町の課題について意見交換が行われました。

若狭町女性の会の橋本淳子会長は「丁寧にお答え頂きとても嬉しく有難いと思いました。一人ひとりに寄り添って下さる感じが親近感がありました。この語る会を通して、この先も一人でも多くの会員の声が町長に届くように活動していきたいと思います」と話していました。

11/30 人権教室

世界人権宣言が採択されたことを記念して、1949年から毎年、12月4日から「人権デー」の10日までを「人権週間」と定め、人権擁護委員などを中心に人権啓発活動を実施しています。

この日は人権擁護委員6名が講師となって、みそみ小学校において人権教室が開かれました。1～3年生の部では、委員6名がセリフを担当してスクリーンを使ったデジタル紙芝居で「自分がそのつもりがなくても相手が嫌がることはしない」ことを学びました。

講師をつとめた蓮本京子さん（横渡）は「子どもたちから『仲間おり』の言葉がすぐ出てきて嬉しかった」と話されていました。

12月5日には、ショッピングプラザレピア（鳥浜）とプラント2（脇袋）においてパンフレットなどを配布して啓発活動を行いました。（写真右）



11/30 災害ボランティアセンターの運営支援に関する協定締結式



町と若狭町社会福祉協議会は、大規模災害に備え、若狭ライオンズクラブと災害ボランティアセンターの運営支援に関する協定を結びました。

渡辺町長は「地域でも中心的な役割を担う若狭ライオンズクラブと協定を結ぶことは大変心強く、日頃から連絡を密にしていざというときに備えたい」と挨拶しました。

社会福祉協議会の山崎和男会長は「今回の協定は、センター機能の拡充となり、町民の安堵感につながる」と話していました。

若狭ライオンズクラブは、災害時のボランティア活動に必要な備品や、資材の提供などに協力するとしていますが、平時も災害時対応について定期的に協議していくこととしており、西野源城会長は「本年創立50周年の節目の年に、この協定を結ぶことができ大変意義深く思います。今後も地域のため精一杯奉仕していきたい」と話していました。

12/2 若狭町防犯隊年末特別警戒

各種犯罪や事故を未然に防止して明るい新年を迎えることができるよう、県下一斉年末特別警戒日のこの日、若狭町防犯隊による年末特別警戒が実施されました。

三方B&G海洋センター体育館において行われた出動式では、三方連隊、上中連隊合わせて代表45人が集まり、勤続5年以上の優良隊員5人への表彰状の授与、坪田安弘防犯隊長による訓示のあと、渡辺町長は「防犯隊のみなさんには年末の慌ただしい時期を迎え、防犯意識向上のためご苦勞をおかけしますが、町の安全安心のためによりしくお願いします。」と挨拶しました。

出動式の後、隊員は各支隊に分かれ管轄区域の巡回を実施しました。



12/3 たたき網漁



三方湖で400年以上続くといわれる伝統の「たたき網漁」が始まりました。漁師が青竹を湖面に打ちつけると水しぶきとともに「バシャッ」と大きな音が響き渡っていました。水温が低下する12月から翌年の3月にかけて、動きの鈍った魚を青竹で湖面をたたき驚かせ、刺し網に追い込む漁法です。

この日は、鳥浜漁業協同組合の8名が7隻に分乗し出漁しました。約80センチのコイや50センチ以上のフナが次々と網にかかっていました。

田辺喜代春組合長は「今日から漁がスタートします、組合員の安全と豊漁を願っています。これから水温が下がると魚の身も締まり美味しくなっていきます、多くの方に味わっていただきたい」と話していました。

まちの話題

Town topics



12/3 きらやまレインボー通り 冬の陣

ショッピングセンターレピアからYUMI KATSURA MUSEUM (ユミ カツラミュージアム) までの約300メートルの通りや、沿道店舗をイルミネーションで彩る「きらやまレインボー通り 冬の陣」の点灯式が、わかさ東商工会本所横の公園で行われました。この日は地元女性の五湖鶴太鼓の演奏や、キッチンカーも出店し、暗くなってからは花火も打ち上がり盛り上げていました。

きらやま地域づくり協議会が主催して昨年引き続き2回目となります。1月29日までの予定です。同協議会の江戸雅良会長は「地域を盛り上げようと今年も企画しました。手伝っていただける方も増え、広がりが出来てきて嬉しいです。今後も続けていきたい」と話していました。



12/3 思い出のレコード鑑賞会

町民約80名が所属する町内の文化施設を応援する団体「わくわく文化振興協会」が昨年に引き続きレコード鑑賞会をパレア若狭で開催しました。旧上中町時代の有線放送で使っていた昭和40年～60年代のポップス・フォーク・演歌などを中心に約600枚のシングル盤とLP盤が展示されました。

来場者は曲をリクエストしたり持参したレコードをかけてもらうなどして、思い思いの曲に耳を傾けていました。会場はアナログの温かい音に包まれ、ゆったりとした時間が流れていました。

12/3～18 若狭町伝統文化パネル展

若狭町伝統文化保存協会主催の町内の伝統文化を紹介するパネル写真展がパレア若狭で開催されました。

コロナ禍で集落の伝統行事の開催や継承が危ぶまれる中、再開の機運を高めてもらおうと企画されました。国選択、県指定無形民俗文化財の宇波西神社などで受け継がれている「王の舞」、海士坂の「送り盆（人形もやし）」、閻見神社（成願寺）の「大御幣搦ぎ」や、三宅・瓜生の六斎念仏、また各集落の山車の華やかな見送り幕も展示されていました。来年3月2日（木）～15日（水）までレピアにてパネル展示を予定しております。



12/9 令和5年警察犬などに対する囑託書交付式



この度、福井県警察本部より中西秀之さん（三方）と池田政則さん（三方）ほか3名に、警察犬指導手の囑託書が敦賀警察署にて行われました。

それぞれが育成するシェパードやゴールデンレトリバーなどで、10月の審査会で合格しました。

小林淳一署長から「捜査は初動が大切なので、ご協力よろしくお願いします。また行方不明者捜索もいつ出勤要請するか分からないので備えておいてください」と訓示がありました。

診療所だより



健康や、診察・治療内容に関する情報などを掲載していきます。日ごろのお悩みや疑問についてもお聞かせください。

こつ そ しょう しょう 骨粗鬆症治療薬と歯科治療の関係

骨粗鬆症のお薬を飲まれていたり、注射による治療をされている方は、お薬の種類によって***抜歯などの外科的な歯科治療**で、顎骨壊死（顎の骨が細菌感染して腐ってしまう）や、炎症がひどくなる、といった副作用が出る可能性がありますので、歯科治療の際に担当医師にお伝えください。

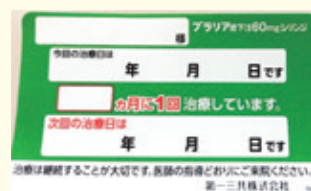
抜歯などの外科的な歯科治療は、服用されているお薬を一時的にやめていただいたり他のお薬に切り替えないとできない場合もありますので、必ずご相談ください。

最近では、病院の先生が骨粗鬆症のお薬と一緒に「骨粗鬆症の治療中です」という紙を患者様に渡して下さることも増えていますので、歯科治療の際にお持ちください。（お薬の種類も確認させていただきたいので、お薬手帳もお持ちください。）

※外科的でない通常の歯科治療は、普段どおり受けていただけます。



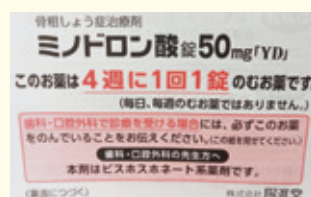
(例)



▲注射による治療を受けておられる場合

※このように日付がかかれた物をお持ちの方は歯科受診時に提示して頂けると、分かりやすく助かります。

(例)



▲飲み薬の場合

問い合わせ

健康医療課 上中診療所 ☎0770-62-1188

わたしたちのSDGs

町内でSDGsの取り組みを
されている企業・団体にお聞きました



有限会社 藤川設備

福井県三方上中郡若狭町大鳥羽13-48

事業内容

管・土木工事および住宅設備工事
(新築・増改築・メンテナンスなど)

SDGs目標



SDGs取組内容

『次世代を育てる、次世代に引き継ぐ』をテーマに、地域の子どもの文化・スポーツの応援や社員のキャリアアップ支援を行っています。

特に、地域のスポーツ少年団や全国大会に出場する部活動など、子ども達が懸命に取り組み輝く姿を、これからも応援し続けます。

また、次世代を育て繋げられるよう、先代の知恵や地域の諸先輩方の協力をいただきながら、資格取得などの支援を行い、社員のスキルアップを図っています。

結の精神で、地域の暮らしの維持や活性化への支援、子どもの見守り活動を行うなど、地域と共に『住み続けられるまち』を目指します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

いのちをみつめて
いわさきちひろ
ピエゾグラフィ展

展示期間
令和5年

2月11日(土)
~26日(日)

※火曜休館

場所:パレア若狭 ギャラリー
時間:9:00~20:00 ※入場無料

主催:  若狭町/ちひろ美術館 後援:福井新聞社

雪のなかを走る子ども 1970年